

日本図書館情報学会会報

No. 188

2022年4月

日本図書館情報学会事務局（編集：総務委員会）

〒252-0383 神奈川県相模原市南区文京 2-1-1

相模女子大学 金井喜一郎研究室

（事務局業務に関する問合せ先）

（株）ガリレオ 学会業務情報化センター内 日本図書館情報学会

E-mail : office@jslis.jp 学会ウェブページ : <http://www.jslis.jp/>

ゆうちょ銀行 口座番号=00160-5-0045759 口座名義=日本図書館情報学会

ゆうちょ銀行019店 口座番号=当座0045759 口座名義=日本図書館情報学会

新年度にあたって

会長 岸田和明

昨年この時期の会報には、新型コロナウイルス感染拡大にともなう緊急事態宣言がひとまず 2021年3月21日に解除されたこと、および「第4波」の懸念があることを書かせていただきました。結局、その後、青山学院大学と熊本学園大学の皆様のご協力により、春季研究集会と秋の研究大会の両方を対面にて実施することができました。あらためまして関係各位に御礼申し上げます。さて、今回のこの原稿を執筆している時点では「第7波」が懸念されています。おそらく2022年度も引き続き、感染状況を注視しつつ、的確な対策の下に学会活動を行っていく必要があります。

そのような中で今期の理事会・常任理事会が最後の3年目を迎えます。今期はスタート時点から感染症対策に終始してきたような気もしますが、2021年度には、臨時シンポジウム「日本における大学図書館のグランドデザイン」（3月5日）とオンライン・チュートリアルセミナー「Google フォームでのアンケートに対する Python による集計入門」（3月19日）の開催を試みました。前者は昨夏に出された私立大学連盟の提言を契機として、本来計画していたシンポジウムの内容を差し替えたものですが、個人的には、学術情報の流通・提供に対するそれこそ「学術的な」検討がよりいっそう必要なことを痛感した次第です。後者については、チュートリアルとしてあえて実践的・技術的なトピックを設定してみました。賛否両論あると思います。ただ、パンデミックへの対応として普及したウェブ会議システムをチュートリアル的なイベントに活用することは今後検討に値するものと考えております。

2022年度は、鶴見大学と東北学院大学にて、春季研究集会と秋の研究大会をオンサイトで実施する予定です。両大学の方々にはたいへんお世話になります。少しでも多くのおみなさまとお会いできることを楽しみにしております。

以上

定例（通信）総会投票用ハガキの事前申請について

総務委員会

会報 No. 189 で行う定例（通信）総会は電子投票を実施いたします。ただし、電子投票システムを利用した投票が困難な正会員に対して、投票用はがきでの投票手段を用意いたします。本会報に添付した別紙に記載し下記の総務委員会宛先まで郵送するか、別紙の内容を電子メールで総務委員会までお知らせ下さい。締め切りは2022年5月27日(金)必着といたします。投票用はがきは往復はがきの形式で6月上旬に送付いたします。郵送投票を行う際には、メールや SOLTI で配付される会報 No. 189 を参照の上、はがきに記載されている締め切りまでに郵送して頂きますようお願いいたします。送付した投票用ハガキ以外での郵送投票については全て無効となります。ご注意ください。

〒182-8525

東京都調布市緑ヶ丘 1-25 白百合女子大学今井福司研究室内

日本図書館情報学会総務委員会

電子メール：somu@jslis.jp

2022年度日本図書館情報学会春季研究集会のご案内

会員各位

会長 岸田和明

2022年度春季研究集会を鶴見大学において、下記の要領で開催いたします。新型コロナウイルス感染症対策も講じておりますので、会員のみなさまにおかれましてはふるってご参加ください。参加を希望される方は、学会ウェブサイトから、所定の期日までにお申込み願います。

記

主 催：日本図書館情報学会

日 時：2022年6月4日（土）12:00～17:40

会 場：鶴見大学 5号館

〒230-8501 神奈川県横浜市鶴見区鶴見 2-1-3

<https://www.tsurumi-u.ac.jp/site/about/accessmap-index.html>

アクセス：JR「鶴見駅」西口より徒歩約5分、京急「鶴見駅」より徒歩約7分

参加費：正会員・学生会員 無料，非会員 3,000 円

申込締切：2022年6月1日（水）

申込先：学会ウェブサイト（<http://jslis.jp/>）からリンクを辿り、申し込みフォームにアクセスしてくだ

さい。なお、発表者も必ず申込をしてください。

備考：

- (1) 宿泊については、会場校での斡旋は行いません。各自でご手配ください。
- (2) 学内のコンビニエンスストア（ヤマザキ Y ショップ）は 15 時まで営業予定です。

開催時の状況に応じて、適宜以下のような新型コロナウイルス感染症対策を講じる予定です。

- ・参加者の常時マスクの着用
- ・来場時の手指消毒
- ・受付での参加者自身による配布資料等の受け取り
- ・密集を避けるため大教室の使用

2022年度春季研究集会(鶴見大学)プログラム

2022.4.12 現在

12:00～ 12:20	開会式 第1会場 (5-101教室)	
	第1会場 (5-101教室)	第2会場 (5-102教室)
12:20～ 12:50	* 小南理恵(鶴見大学) 「読書の自由」における学術関係者の役割: 報告書『読書の自由』(1957)を中心に	角田裕之(鶴見大学), 望月貴光(鶴見大学), 箆島彩恵(鶴見大学), 大関海晴(鶴見大学), 盛倅多(鶴見大学) 現実とバーチャルを併用する学生企画展示における非来館型サービス拡張の可能性: 非来館者も対象とした展示の試み
換気・消毒		
12:55～ 13:25	* 佐藤聡子(筑波大学大学院) 地方自治体の総合計画における図書館の記述	葉袋秀樹(元筑波大学) 「第1次米国教育使節団報告書」第5章成人教育の意義
換気・消毒		
13:30～ 14:00	* 曾加(東京大学大学院) 大学内の他のサービスとの比較から見たサブジェクトライブラリアンへの大学院生が持つニーズについて: 東京大学大学院教育学研究科を事例にして	福永智子(椙山女学園大学) 雑誌『読書相談』における「読書相談」という概念について
換気・消毒		
14:05～ 14:35	* 鎌田祥輝(京都大学大学院) 図書館教育カリキュラムの系統性: 戦後初期の学校図書館思想	大平睦美(京都産業大学) 千葉市におけるアプリを使った図書館連携実践
14:35～ 14:50	休憩(15分)	
14:50～ 15:20	* 李雪貞(東洋大学大学院) 知識空間を再構築するバーチャル図書館システムの提案と開発	浅石卓真(南山大学), 解良優基(南山大学), 河村俊太郎(東京大学) 図書館情報学用語を対象とした単語親密度の推定
換気・消毒		
15:25～ 15:55	杉江典子(東洋大学) 我が国のレファレンスブックの出版傾向: 国立国会図書館所蔵図書の書誌データに含まれる件名標目と分類記号を用いた分析	岸田和明(慶應義塾大学), 門脇夏紀(慶應義塾大学大学院) 地域メッシュ統計を活用した公共図書館評価の試み: 神奈川県を事例として
換気・消毒		
16:00～ 16:30	吉井潤(都留文科大) 公立図書館の選書における一般図書の評価	池内淳(筑波大学) 公共図書館における電子書籍配信サービスに対する市民の選好意識とその経済価値の測定に関する分析
換気・消毒		
16:35～ 17:05	福島幸宏(慶應義塾大学) デジタルアーカイブのオープンライセンス化と利活用についての再検討: 京都府の事例を中心として	間部豊(帝京平成大学) 公立図書館における電子図書館サービスによる資料提供と利用の実態
換気・消毒		
17:10～ 17:40	谷口祥一(慶應義塾大学), 橋詰秋子(実践女子大学短期大学部) RDA規定のRDFデータ化	山本順一(前放送大学) アメリカにおける図書館の電子書籍貸出ライセンスをめぐる図書館と出版業界との軋轢: メリーランド州Digital Content Lawを手掛かりとして

- ・氏名前の*は優秀発表奨励賞授与候補者(自己申告による若手研究者)です。同賞選考委員会が審査し、受賞者を選出します。
- ・このプログラムは暫定版であり、発表論文の提出をもって確定します。
- ・所属は、教職員(常勤/非常勤)・学部生は「機関名」「(大学名)」, 院生は「大学院名(「〇〇大学大学院」)としました。
- ・会場として使用する教室は変更の可能性があります。

第 70 回（2022 年度）研究大会開催日について

研究委員会

第 70 回日本図書館情報学会研究大会は、東北学院大学土樋キャンパス（宮城県仙台市）において、2022 年 10 月に開催されます。具体的な日には、現在、会場校の担当者と検討を進めております。2 日目午後には AI と学校図書館にかかわるテーマでシンポジウムを開催します（一般公開の可否は現在検討中）。会員の皆様におかれましては参加をご予定ください。

学会賞・論文賞・奨励賞候補の推薦募集

学会賞選考委員会

2022 年度の日本図書館情報学会賞、論文賞、奨励賞の候補に関する推薦を下記のとおり、募集いたします。自薦・他薦を問いません。多くの会員からの候補の推薦をお待ちしております。

記

1. 賞の種類

- (1) 日本図書館情報学会賞
- (2) 日本図書館情報学会論文賞
- (3) 日本図書館情報学会奨励賞

2. 選考対象

- (1) 日本図書館情報学会賞：本学会の正会員
- (2) 日本図書館情報学会論文賞：本学会の正会員・学生会員が筆頭著者である論文
- (3) 日本図書館情報学会奨励賞：本学会の正会員・学生会員（若手研究者）

3. 選考対象業績

- (1) 日本図書館情報学会賞：正会員によって 2020 年度もしくは 2021 年度（2020 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日）に日本語もしくは英語で発表された単著の図書
- (2) 日本図書館情報学会論文賞：『日本図書館情報学会誌』第 67 巻第 2 号から第 68 巻第 1 号までに掲載された、本学会正会員もしくは学生会員が筆頭著者である論文
- (3) 日本図書館情報学会奨励賞
 - a. 『日本図書館情報学会誌』第 67 巻第 2 号から第 68 巻第 1 号までに掲載された、本学会正会員もしくは学生会員による単著論文
 - b. その他の研究業績については、本学会正会員により推薦されたもの

4. 選考

学会賞選考委員会において学会賞選考委員会内規に基づき審査し、常任理事会および理事会の承認を得て決定する。

[学会賞選考委員会内規の選考基準の部分の抜粋]

(1) 学会賞選考基準

学会賞の対象となる業績は以下の基準を満たしていること。

- 1) 単行書として刊行された日本語もしくは英語の学術図書であること
- 2) 単著であること
- 3) 図書館情報学分野を対象とし、一定の学術的体系性をもつ研究成果であること
- 4) 図書館情報学分野においてオリジナリティのある研究成果であること

(2) 論文賞選考基準

論文賞の対象となる業績は以下の基準を満たしていること。

- 1) 日本図書館情報学会誌の当該年度の対象の号に掲載された優れた論文であること
- 2) テーマの設定、提示された成果にオリジナリティがあること
- 3) 論文の内容、構成、表現について、論文としての完成度が高いこと

(3) 奨励賞選考基準

奨励賞の対象となる業績は以下の基準を満たしていること。

- 1) 日本図書館情報学会誌の当該年度対象の号に掲載された若手研究者による単著論文であること
- 2) 研究テーマの設定が明確で、学術的意義があること
- 3) 研究方法、成果の提示に大きな瑕疵がないこと
- 4) 今後の研究の発展に期待ができること

5. 授賞

第70回（2022年度）研究大会時に授賞式を行う。

6. 応募・推薦方法

以下の事項を記載した用紙（所定の書式はないが、A4判横書きが望ましい）を6月30日（木）までに必着で電子メールないしは郵送にて送付すること。なお、推薦者の氏名は非公開とするが、選考過程を報告する際に、推薦理由等については一定程度言及することがあり得る。

- a. 著者名
- b. 著作名（書名、論題名等）
- c. 出版社／収録雑誌名・巻・号・頁
- d. 推薦者連絡先（メールアドレス明記）
- e. 推薦理由

7. 応募・推薦先

【郵送】 〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台 1-1 明治大学司書・司書教諭課程気付日本
図書館情報学会 学会賞選考委員会 三浦太郎

【メール】 senkou@jslis.jp (学会賞選考委員会)

委員会・事務局より

『日本図書館情報学会誌』投稿募集

『日本図書館情報学会誌』の投稿先は以下のとおりです。投稿は随時、受け付けています。投稿に際しては「投稿規程」, 「執筆要綱」, 「『日本図書館情報学会誌』掲載原稿および審査に関するルール」をご参照ください。

(編集委員会)

- ・ 投稿先：日本図書館情報学会編集委員会 (journal@jslis.jp)
- ・ 『日本図書館情報学会誌』投稿規程 2021年4月1日改訂
<https://jslis.jp/wp-content/uploads/2021/01/tokokitei20210401.pdf>
- ・ 『日本図書館情報学会誌』執筆要綱 2016年10月8日改訂
http://jslis.jp/wp-content/uploads/2018/01/w_out_161008.pdf
- ・ 『日本図書館情報学会誌』掲載原稿および審査に関するルール 2021年4月1日改訂
<https://jslis.jp/wp-content/uploads/2021/01/rule20210401.pdf>
- ・ 日本図書館情報学会査読網領 2021年4月1日改訂
<https://jslis.jp/wp-content/uploads/2021/03/sadoku20210401.pdf>

視覚障害者への学会誌 PDF 版の提供について

視覚障害者の会員の方に『日本図書館情報学会誌』のPDF版データを提供いたします。ご希望の方は、事務局 (office@jslis.jp) までメールでご連絡ください。お心当たりの方は、対象となる会員の方にお声かけいただければ幸いです。事務局より、障碍の程度をお伺いした上で、提供いたします。

(編集委員会)

J-STAGE 上での『図書館学会年報』の閲覧について

『日本図書館情報学会誌』第45巻以降に掲載された論文に加え、『図書館学会年報』の第32巻～第44巻に掲載された論文がオープンアクセスで利用可能になりました。研究等にご活用ください。また今後、さらに遡ってのオープンアクセス化を検討しています。

(編集委員会)

J-STAGE 上での『日本図書館情報学会誌』の閲覧方法について

発行後1年以内の『日本図書館情報学会誌』に掲載された論文をJ-STAGE上で閲覧するには、J-STAGEのウェブサイトにてサインインする必要があります。サインインにあたっては、購読者番号とパスワードの入力が求められます。購読者番号は学会の会員番号(4桁の数字)で、パスワードは入会当

初のパスワードになります。会員番号や入会当初のパスワードが不明の場合には、事務局（office@jslis.jp）までお問い合わせください。

（事務局）

メールマガジンについて

総務委員会ではメールマガジンを随時、発行しています。掲載・講読希望の方は、総務委員会まで電子メール（somu@jslis.jp）にてご連絡ください。なお、掲載を希望する方は、PDFの添付ではなくメール本文に掲載内容を記してお送りください。

（総務委員会）

2022年度の会費納入について

2022年度の会費払込用紙は6月号の学会誌に封入予定です。クレジットカードでの支払についても6月号の学会誌発送と同タイミングで可能となります。今しばらくお待ち下さい。

（事務局）

未納会費の納入について

2021年度の会費を未納の方はすみやかに納入してください。2020年度までの会費を未納の場合は、2021年度と合わせてできるだけ早く納入してください。なお、会費を3年滞納した会員（学生会員は2年）については、その年度末（3月31日）に会員資格停止の手続きを行います。次年度から会員としての権利を失いますのでご注意ください。また、会費を1年滞納（当該年度末を超えて滞納）した場合は、機関誌の配付を一時停止します。

そのほか、学生会員で2022年4月以降に所属が変わり正会員へ変更となる方については、判明後、すみやかに会員種別の変更手続きを行なってください。会費の金額が2,000円から8,000円に変わります。適正な会費をお支払いいただきますようお願いいたします。

【振り込み先】

ゆうちょ銀行 口座番号＝00160-5-0045759 口座名義＝日本図書館情報学会

ゆうちょ銀行 019店 口座番号＝当座 0045759 口座名義＝日本図書館情報学会

なお会費は、下記のサイトへログイン後、クレジットカードによる支払い（もしくは決済）が可能です。

<https://service.gakkai.ne.jp/society-member/auth/settlement/JSLIS>

ログイン後、「オンライン決済へ進む」を押していただき、クレジットカード情報をご入力いただき、「オンライン決済の実行」をクリックすると決済が完了します。どうぞご活用下さい。

（事務局）

会員情報変更・退会および会員情報管理について

住所、電話番号、所属先、メールアドレス等の変更については、学会ウェブサイトに掲載されているガリレオの会員情報管理システム（SOLTI）から直接変更していただくか、「会員情報変更」のページに掲載されている「会員情報変更申請書」にご記入いただき、事務局（office@jslis.jp）までメールでお送りください。

また会員種別の変更については、(1) 正会員から学生会員への変更の場合、当該年度の4月20日

までに事務局に申請する必要があります。それ以降に申請しても、その年度は変更されません。(2) 学生会員から正会員への変更の場合、随時、事務局で申請を受け付けます。ただし、受付の時期によっては、正会員の権利の行使が制限されることがありますので、ご注意ください。また、受付後に年会費の差額を申し受けます。

なお、退会については特に書式はありませんので、電子メールにて、退会理由を併記のうえ、事務局 (office@jslis.jp) までご連絡ください。毎年3月20日までに申し出がない場合、翌年度末での退会となり、1年分の会費請求が発生しますのでご注意ください。

(事務局)

学会受領資料

紙幅の都合により、図書のみ記載しております。(編著者名の五十音順)

- ・ 内野 安彦 編著『行政マンとして図書館員が忘れていたこと』樹村房, 2022
- ・ 木下 朋美 著『公共図書館の選書業務における選書ツールの研究』樹村房, 2022
- ・ 今 まど子, 小山 憲司 編著『図書館情報学基礎資料』第4版, 樹村房, 2022
- ・ 野口 武悟, 植村 八潮 編著『図書館のアクセシビリティ:「合理的配慮」の提供へ向けて』改訂, 樹村房, 2021
- ・ 原木 万紀子 著『大学生のためのビジュアルリテラシー入門』勁草書房, 2022
- ・ 和田 敦彦 著『「大東亜」の読書編成: 思想戦と日本語書物の流通』ひつじ書房, 2022

会員の皆さまが図書館情報学関係の著作を刊行された際には、可能であれば事務局(相模女子大学金井研究室)まで1部お送りいただければ幸いです。書評対象文献の選定ならびに学会賞選考の際の参考とさせていただきます。

(事務局)